藤

うけうすき野辺の春やもてきたる池のほとり

松上藤

芸てふ嘉ようかに身延てもいろまふかき松のふもと

暮春

今ふとも古巣ようくるれ春や暮行美のとなりの春を

七ふくさ九ツ重ねの裏を茶染の名残の関よとゝめてしがな

夏

更衣

人をもる袖きよくまおくれてもとかおれて美の夜は

卯花

美山霧しおをう家なれや垣根の花の一ツ夜

新樹

雪てのみ埋もれてぬ雪の名をおもひ出すよ山の

卯杖

筆をとるまゆをうむもうら若き卯杖ゆゑ

卯月

名の雪やうくわく月の新うき愛の卯月の雪のきえ

卯杖のきえを分れて新わく翼乃ひを村

社頭卯杖

朋こゝろふかき如をきをもつ榊の四

園象外花

卯花の笠る田中の蓑袴おいほさそふ雨も消ぬとそ

蓑

神山よいかきそめてあしたゆふへ

澍待郭云

夜山のこすゑをうつときこえ神前も今くせとはこまも

つまもひきおもおもしろとてよふとのれるへきにはなり

待郭云

月よたてなく蕭條敲き郭云もあまたれぬ恨るうき

月夜はし敷をしくへあすおとつれなく雪をとるて旅なる

久待郭云

待ふるてねもひとせよ郭云陰こもりやの松の日うらを

郭云

一声よおとろかされて暁のまくらに

定引の山寺ちかくなれたてれ待こと

待ことのふるさとありのうらみ今れ云

新うけて月ふとてふおすゆやとれ和れてうれん

暁郭云

五明の月を待くて急れ山ほとゝきすいつこよふく

国立国会図書館　タイトル『群書類従』　請求記号 127-1
ガラス使用

[illegible]

閑居雑

[illegible]

[illegible]

[illegible]

五月雨久

きら雀たゞ羽ばたきを見るまでの空ふさがりて今日数分

夏月

入おのがきてとてみちをあらそふ夜のよの月

いくこひのやすき寝と恨きく月よりさゆる衣手の秋

夏あつき物陰もとめ蓮生ふみしより立てさく月の影ふく

物寂の客をむすべば松ふきいさごにうつる夜のよれ月

樹陰夏月

立出てしのぶとも受ぬ夏の秋あれ行雁よ忘れぬ末の露

夏草

むさしあぶみ

庭夏草

行きちふれあきうぬ夏のこゝろ共

夏地儀

玉ゆらあふぎのそよぐれど水のこゝろみくぼたて

鵜川

よるくよ鮎のうき里焼ほひてこゝろの暗やねぐらめん

むらひあふ妹後の世も簡大ぬこゝろの底よ鵜ん

哀なる報ひ乳鵜手乃うきぬこゝろの暗のあらぬ

螢

草もえ絲の住家ハをの川ちとせもへんん

水邊螢

玉にの水よとまれと石の火乃井いつとなくふる

叢螢

身をこゝに窮やみこゝん志あり草むらふもの螢ハ

夕立

あしひきの山の尾上を滿みそめ夕立雲の雨ふりくれぬ

蜩

夏ふかみ日ぐらしの聲山乃井のつるへたひき蜩のこゑ

納涼

山陰ハ夏こゝちせて吹風にくれまてすゝむ扇の風

秋

初秋

草も木も淺みとりなる秋の初の雨の露の玉

初秋風

萩すゝき初のひと葉乃音ありて秋の風こそ身にしみわたれ

玉源氏

秋きぬとめもよんなれもうつせの源氏ものかたりかな

国立国会図書館　タイトル『群書類従』　請求記号 127-1
ガラス使用

七夕

あまれかのかはらみを梢撓の秋のいろくるる雨

侍七夕

銀河のあふせうれをいかにうれしめ

乞巧奠

男星れう色よ雲もそうめれてもふれや添ん

萩

露ふてこゝろ人の手ふめ移ふる秋う着れう庭の萩原

身のうきに秋のねをぬ時をあまてなうれをうれ萩のう

閑庭萩

をれてうるひうれやうとうひうきれう着の露う

萩

ふあうん人れ行れ行すん野うれうん

萩露

色うる秋の美萩をうる露宿

うをれよう着をぬ着れ夕うき庭の萩原

分ぬきて小庭の垣うむうをぬ花ふ露ふき秋の萩う

折ふひてうてひ露をうう着うほうふ萩ふ秋を

移植て

行路薄

分わひてうひやふ小仮枕夕露をもみ亀ふふき

女郎花

はるなはこまつをく野を道乃とそ
ゝへしころそこゝ家こゝろ

露

袖をのそやとゝはゝらゝめ秋くれハのゝ

題しらず

相の葉よ秋をもて乃芝れ雪ゝ

秋夕

つ連弥くをなつゝひよけゝ我身ゝ人ゝつゝき秋の夕雲

秋夕風

夕雲ゝもゝをもゝれみ〳〵相ゝゝおもひるさゝ秋のゝふ

更ふけて窓をハ袖小萩すゝ琴とそと身よゝく秋の夕也

題しらず

なゝあやゝるゝとゝ多雄のイよ雲ゝけてゝ夕乃山れをゝうゝき

雲

蓼ゝく雪ゝをゝゝく菴生れ家雪ぬ庵の秋ゝ

雁

衣鄙とゝまりやれゝ猿鳴むすひとあへぬ神ゝの夢

初雁

秋ゝせや身よさむゝん物ゝの哥ゝきけし文ゝよゝ

擣衣

いたるまで林をもるみてて露ものうき世よ鶯のうき
月のけいたるまよ更ぬる夜の枕にうき林の色よ鶯のなく
うつゝなく林の妹へ外夕書やの我杜うせもなみもぬん

鹿

きつゝ通ふうき国よ霜のむすぬまでふくあうぬ小男鹿の
うきこゝ我妹もひいてよときをもつゝ袖なよれ鹿よきをやるぬん

遠岡鹿

吹もるる野のあしやをきみるん角こうる声のあしせんあうつまこと花のひもてるときをもつゝの影

寝覚鹿

山かつこ寝ぬあしせんあうつまこと花のひもてるときをもつゝの影

秋田

都へ初刈ぬうきあれるまきの葉の若

霧

明方ぬ秋ぬまもれきぬすじんの立寄山陰の里

月

夕雲ぬ秋をだへへとそうのきを月よ残をす
人にいきんやまへよりる月なるもの月ぬむしをれも
うら秋もるくさむ秋ぬ月影をめくよ浪をおもひん
ほうくとおもひつけてまうさいをよをうふ
月のすむ玄井よりをそうめすくかるもおもぬ我ふる

国立国会図書館　タイトル『群書類従』 請求記号 127-1　ガラス使用

すむ人をいかなるえんとてすくらむ淺茅が宿の月

七月のつごもりをかぬれば秋のいづこともなく物すごう

九月十三夜くもりてよこ雲をふく風のはやさ

うごくともなきひのうちにもうき者は月をおもひ

秋をうらむ

殘菊見月

いつ〳〵をわかこころぞとなけれどもしも月をこと

月多秋友

秋を經てかたらぬなかやふく風の月のひかりのなごり

秋深夜遠友

秋深くとへかしとのみ思ふ哉

名所月

志ちもとうきくさ營をわするなの月ふかきそみそ〳〵の山

河月

山河やさやけき月をうつしとるまそかゝみとぞくれぬ月の影

山居秋月

月なかば我うき世にや隣らんもるひきまれ柴の下茶

擣衣

をさまりて秋ぬれ床の暁をおもひ音ほに夜ふく聲

閨擣衣

おもふよのかけり果まぶ衣擣里ぬ淺茅が宿の秋の勢

菊

国立国会図書館　タイトル『群書類従』　請求記号 127-1
ガラス使用

紅葉

あひおひてうつろひそめし夕日かげ
雲のうへまで染る山かな

夕紅葉

雲ゐまで見わたすかぎりうつろひて
山ぞ錦をたてる秋の夕

暮秋眺

今はとて雲り林を山もとやこの梨の葉の速く小萩が

九月盡

秋ながらそらを限りと思ひつる
入おしむ心ぞ人にまされる

時雨

けさのうちやをそらまでありし秋の
いろそよりふりそめし雨はさらぬ物ゆゑ
ものさびしきあさの時雨か

山時雨

みむろ山もみぢつつじみ染めをや
ふりいでてしぐれ染らん

峯時雨

乾田山そのもみぢ葉をそそきいれて
ふりしきるよしぐれてふ柏

谷時雨

谷川のやそとかしくふり行くは
もとそうつる色をや見ん

野時雨

霜うち降りて寒き夜の月を

杜時雨

神南備乃毛見れどもかくれひとの袖こそふるらし

この時雨

俊保卿の松のもとに神〻おちいまもなくみる時なりけり

関村雨

旅人の実生明くるのべに松ちかくまつらむ

里村雨

誰さとともし里降しぬる夜半に袖乃狭く降小雨

里村雨

もみぢ葉のうつろふ秋の名のごとくて幾

落葉

春おく秋なりけるとなげきつゝ木葉ハ何と恨ぬ

暁落葉

おく露とおもひけん枝乃木葉ちぬる暁のこゑ

朝落葉

松とてもおくかまでにそ雪乃ひまなき

夕落葉

末松のこずゑ吹まく山風の

山落葉

国立国会図書館　タイトル『群書類従』　請求記号 127-1
ガラス使用

雨後の山ゆうにして春の如し　本業や人名まことにふさはしく
岩蕗葉
紅くゝ小流まで水ありて也寺望ふさはしく落葉の音
落葉混雨
木ずゑふかき雨おもく深く新田服遠く秋やゝひゞきあり
落葉随風
いたくともおもひ定めず愛ず新葉さそふだにまだしきほどを
寒来
見うのゝ山かげ入日ほのかにて一ときは新葉もおちつくす
霜

深さよ庭白妙のおもく雪や昭如ところ光かゞやく家
柘野
聖とさまざまの秋よう好の列くもうまでゝ郷ゝ新たなる
寒草
さゆる野よ松ふかき雨ぬれもやまぬ紅のまだつく初雪
岩蕗葉
霜とろくとこゝろ付ぬかゝ毎朝をくの手ぬぐひ和らぐ
岩室草
岩ふかく苔ふかゝり水こゝろ岩ぬきて山をみて
野室草

国立国会図書館　タイトル『群書類従』　請求記号 127-1
ガラス使用

一本をおうるあるき武蔵のやまいこもれる里

原宝茅

茅ばなうつくしくおらるるをつくり小萩ありて八月もやゝ

庭露草

庭もせにあだみぢつゞく蓬生をたゝいなる霜の夕暮

池宝女屋

志賀まで葉いろよもちて村芦のとかとさき池の面か

江菱芦

柏ちるうら枯葦のいろこもまがふ入江の汀かな

雑波えに舟もさつきの殿めぐりん柏ちる枯芦もおもしろき

漆寒芦

みなとなれやしの下葉かりけをもの寒の汐の野氷うき枯て

氷

小夜更てやもとし山のれ岩うつ

湖氷

波の音も深てやまこえ志賀乃うら

瀧氷

うつゝやれ賀れみ山を流きて

谷氷

賀乃なごたのおともうつゝ谷乃戸もうち

国立国会図書館　タイトル『群書類従』　請求記号 127-1
ガラス使用

田水

うこかすはやき小山田のうのひち走人の

戀翹氷

孫そのゝひの水もおる也いりふねす

冬月

くもる色さえてみえし山たゝをあらはしそめる冬月

冬月夏

秋ふけぬやみにもまよふ心のみうつりてとまる澤月

冬澤月

我うき葉まで霜のかゝくい舟こぐよかく水ふ月を洗ふ

冬鳥

霜さゆる苅のまろねにわれをへて啼ふみ渡るいつを春むと

我のこと思ひやるらん啼ものうに辺の風のさむき夜のこと

曉冬鳥

いのをもとくまもとにふく風のとまりて枕も寒くけき

夜冬鳥

小夜ふけてうき林をあはれとやおもふらん辺の友のとめる

池冬鳥

氷ある池のみおえを浪のする濱の玄砂となくみるり哉

河冬鳥

やしろをたてて業平を住吉の乃うまの浦にて
汀の鳥
ふる里の月の流を汀まで
浦の鳥
こよひもや妻をとめぬらんのうらを小浪をうらめしきちどり哉
濱の鳥
松よりもくるをまちてやとるらん友こ鳥の垂尾あしひきの
鳥を動物
をかもとの枕詞のことなるよしのゝ
水鳥

夕雲雀あがるや野もとむらむら春草の
細代
あしろとる梶いうう小田上の河の
細代守のこ秋の庵を
夜細代
夜ま木田上河のあしろ
細代寒
あしろ木にさよ氷をもる宇治の河を

国立国会図書館　タイトル『群書類従』　請求記号 127-1
ガラス使用

鳶羽玉のよるとあいまちてふ枝のうら風のさむしろ

寝覚夢

あふまの松もあらはれぬ夢うつ枝乃うら風のまてるねと

庭上夢

声ふるき宿のわすれ水うつ夢そとよみそえてまきを

篠夢

玉ぼこのあれみる目乃名ちうつ里ふみまよふ成

竹夢

吉野山あと迷ふ里ふるの雪ふるうの勢ふるまつの成あの山寺のうちうか

柏夢

時ふるき雪乃朝のきふ山もれさるあとやいきのうへの秘密

山なうつあらしや松のうへふるうつもるとあふ松のもち雪

ふるよすきし紅葉に雪まつ恨もそ

暁更雪

宿の戸をおのれとひらく夜乃山よ松うち雪

朔雪

国立国会図書館　タイトル『群書類従』 請求記号 127-1
ガラス使用

黄花の指すうへこそうるみ残りけれ

山雪

雲ゐまでいつこのれと入くるの雪の夕の空

遠山雪

秋宿のはるきこゑもみえそそきひろき山の雪

峯雪

冬ごもり雪もる庵を雪書いた人もなし旅をとふ迹

谷雪

くるとあくるまで谷の岩ねなし雪うりのあん地する

仙雪

松人のうへをおもふ梢とくやまぬ春をいそぐ雪

杜雪

今やまこと生田の杜も枝ふさまでひとよ雪ぬ

野雪

冬ごもり花野はるふつて雪残る草

野迹雪のいろのうへのうすらぬるきえぬ

関雪

関の戸いかなれ雪よりもそそもち

河雪

いと清ふみそそぎ雪を

国立国会図書館　タイトル『群書類従』 請求記号 127-1
ガラス使用

湖雪

海の面のこおりもるくとうふきてうみのさとう郎

浦雪

浦をふくうらかぜさえ等とうをはもれる雪ふうらめく

濱雪

吹ふゝく風も濱うの勢ひも濱まてくまもとう雪横めうか

鴻雪

雪よりも松のあるしの雪ぢやうそ法師の語りし雪をそうかな

田雪

秋のきよ高く植るのおもひけいたはちすうふのうふ田れもつくる

苑雪

大空をあをく春残雪れはるゝ苑ふかすうむる

禁中雪

夏衣や濱長き雪くひを歩きうりの雪れ

社頃雪

祝ふうい雪をもるみしめ縄狂ふ雪多ふ降はす

古寺雪

うつ雪乃楼まとれ雪ふ尾とれ小神楽の山

在郷雪

婦の集れよりの雪は今もうとそうとれ雪ふ降雪

国立国会図書館　タイトル『群書類従』　請求記号 127-1
ガラス使用

墨雪

山ちかう大柳よもすがら雪ふる庭の打もの那

栗栖雪

但馬ふかくよもすがら雪ふれとみぐひ馬よ雪の降ぬる

駿河雪

ふきつるゝ風もとゞまれかんなびの雪ふる山の夕ぐれ

竹雪

夜あらし竹の梢も降雪もつもれまさりてのこる夜もなし

松雪

高砂の尾上の雪ふみわけてみしらぬ松の色もとめん

枝雪

うゑもなく横河の乃枝ゝ雪とのみ花ちりてのこる

梢雪

巻向のもとつ山もかすむまで雪とふり積里つゝ

冬夕

みちもなくふりそめぬ遠村夕雪をいそぐ人の

冬山

あしひきの雪をやいそく庭つ鳥かもとも山に

冬墨

思ひて住よのかすみもそもそもん雪ふる墨のうらひら

国立国会図書館　タイトル『群書類従』　請求記号 127-1
ガラス使用

冬禽
雪をもち園生の竹もまろび折ふし
冬鶯
紅梅さく窓ちかく小男鹿の
夕雪狩
さそふとや雪うち降て寒き日のうこぬくめ鳥をそこる
野雪狩
今も哉鴨、鴈の羽風をとゝめみうせしよやとひやらん
狩場風
榾柴のまろ〳〵ゝゝ又夜更れ来よ狩宿のふり

炭竈煙
まそかゝみ磯ちかくよる舟の水里風をうれしみ
遠炭竈
立騰るあまのすみやきの煙の浪のすきうら通ひ
炉火
いかゝきゝくゆる出し埋火のあるかなきかをあるじのもてなすよあるゝ埋火のもと
神楽
大内や霜に月さす榊葉にうつるかゝりも乙女子が袖

年内梅

客陪て年ごいくつもあつすとん

佛名

年暮くみつの仏乃御名れ

年歌書

歌ごろ月雪歌もあとう

惜歳暮

り年のをきのこうかすまぬ

夜歳暮

一年いとの年月を指折

老涙歳暮

年くまぬ又や我身の老乃

山歳暮

あしひきの山の里とう書

河歳書

我為にのすれてう年

路暮書

たまかとのろゆき人のきて

山家歳書

松むし人しあとい山うき

閑居暮書

[illegible]年のうちにそひもする

歸暮松

春のうち門まで生ひて年ゆきまつ松をとる迄

除夜

鳥羽玉の夜と春と隔てたる今ぞよくまで待つ年

惠

初春

ふくとても其の末松も蓬初もいかが我が身のそひ初春

こゝろよく人まつ後をうけ初めてくみよう後のそひもん

思惠

[illegible]

人老ては子ゆへ親の思ふなと雑俎なるみづとぞ

思親日惠

きのふまで思ひ染よむす姫ぎみ春そもとろ人の玉と遥

題未詳

春くれば咲ぬる花のおもへこゝろ折ふしのひとことを

閨惠

偽のなれてあふとも人の思ひをきくよともう昇

いひ俗こゝろきこゝろ後のなたあふ袖

見惠

綱久ふみをうま里を浦をにたるぬるそや秋ものう
きあまおもまろ久んの海ふるるたこ呂ぬ
雁波ゐや芦をとりてみゐのみるめふそひ場よめん
あ一屋うみちろ汐よねろ秋ふひか

思緑恵

きてすかとひ一と今に秋ろれこるふくきふれもひ倭ぬ

待恵

つまもくそひろてぬこ後ふかまゐよれ、屋の生明の空
ま飛ゐれ一夕の鐘のこ色ゐろたのめぬ屋も芸梯ろん

毎夕待恵

待恵

待宝恵

打倭て今宵をえやまつて我ふ

題しらす

身のめてをうんぬこ後ふ旅の空待ん結ぶのたてそうきも如月

衣ふをまゐふ残をこ後ふ野ぶてそ如宝の忘形

神遊恵

年月我つくさひふれ今てをあふ秋ふ空の紫てをき
うまてまのおまう旅ん新まふ旅ふむすたりとろ波て

別恵

国立国会図書館　タイトル『群書類従』 請求記号 127-1

ガラス使用

わきもこが形もうひかうる唄乃風うまとをゆるん

晴別亥

別つまもちよこえり春まや曉のうすもやん

後朝亥

愛ふく覚る枕や秋風し好もひとうみとろ湖のそのう

ちきれうき雲をれもひのそうふ分霧又打まをいのちのむや

逢不會亥

そうきうきうしまをしてはうの一てて重てのなよさひる夫

寝ざす

おもひいつやあのこれふうはうあてつきを沢欲くらを

遠亥

わするあとひつる人のおとの葉をいをまつ一ン雲月重の

旅亥

人哀をを百我いてかうみることに有重てお重て人をこん

根亥

こ根うきのけう朝我美萬つ

わをまこ仁人に戦身乃つうきもろ

たのまのよやまのの原よ偽の霧

末根亥

をろち 恨る人のこゝろを 鎖てのがれもえせむ

　　采根絡恵

胡蝶 ゆきゝぬるそで 根しゝ

　　根絡恵

ほとゝぎす なきてもとゞめぬ 名を 恨る

恵天象

生明の 月まつ宵や ふるくらん

恵地儀

たのしそう人のこゝろよりも 末の水とみるしのゝめ

を恵

隨筆ふでぬるとみえて 偽れる人のこゝろをうつす歟

　　寄雨恋

濡れてとる さゝ人もなくよれもつゝんで

　　寄墨恋

ゆきかよふこゝろなあらそ 深の山ふかの里ふかすみ

　　寄草恋

かくてやはぬるまてそんする 乱髪うへと人のくる

　　寄鶏恋

あしたゆふた 夕附鳥のそらねして 暁のうら

　　寄鐘恋

国立国会図書館　タイトル『群書類従』　請求記号 127-1
ガラス使用

きのまま人のこゝろを恨てもちすまふる入相の鐘

寿抛懐

きてもとの色香の秋も有ものを花ぞ恨ん

朽偃てゆく秋をもしらで夢さめて

寿夜懐

ちぎりきな這里こゝろの寿限迚ひや中に夜ふけし

寿床懐

寿限へてとこれぬ床の芦枕そうきんやる夜嵐

暁

きのふけうとも物や更行秋の鐘よのうき音

関路雲

関の戸や今明ふかめる雲横雲妙

橋

住をてゝ誰又ちぎりそめん昔小波の山

橋若

すゑ結ぶわかれもふかやうきやこの乃橋

湖水眺望

り一番よ伊そうの唐崎丸沖津浪矢そ松の琴

夕陽映鴻

国立国会図書館　タイトル『群書類従』　請求記号 127-1

ガラス使用

浦もなく苔ひろく汲日九月うけふ
　　燈屋燈
芦の屋おとろかの燈をそふる世をうらん
　　菴藪面
ふるもの身のとこと秋の魚をそうかたる芦の湾
　　鶴寄近枕
あるうき芦の鶴の峰おろぬるの庭れんをうちう
　　遠寺晩鐘
行くよ、おの〳〵入おや寺あるうれくの山を
　　田家晩笛

答我あるこ小田もう壁のふいをたうらん

山家

松の風谷の流も丸音ありてきて楚
あしひきれ山下陰やそのほうう義ふ
山はふくんあさ丸根のこいつとうかぬまろ戸のうち

山家人稀

踏ぬ苔ふおもひらまそのふ
山亭人稀

さかりあの岩根の苔のこうもひ訪よとまぬ山のかと答

山家逸情

国立国会図書館　タイトル『群書類従』　請求記号 127-1
ガラス使用

うき世とそいふこゝろの底を山ふ
恋情
をそうるふこゝろのかと我なのまゝ
魚なる身我ゆゑ世中はいひふらへぬこそうもふ
年中恋ふく我魚なることもいそ人もふ
ほくくと分を心にはう恨なる人やつゝ世を恨
独恋情
よ我山ふれもよ我ゆゑ世中ハ我ゆゑひとりのなすわ
恋情ハ一
今更とそうきものの表こゝろ

世中をてやうの事をそうふ
けまる
よゝやとそひるもあれを我ゆゑ
等聖ふらやもあれもの基
ふとそこゝろ世中ハ我ゆゑ
為聖ふ我ゆゑ世をそうきぬ
題しらず
ふ我ゆゑ世ふあふひもふ通の恋
為聖ふ我ゆゑ我の夢を
神祇入恋ふ山田ふ神ハせらまし
なよみそくつるる十首

寄月惜懐

かきくらし雨まで雪となりぬれば
ことの葉に思ふこころはみえこさじ
かくてのみ月代待つ夜ぞ
後いつの日にかはるべき
故郷にあるを見ても
えしも
この世のまよひなるらん
題しらず
かきくもり雨まで雪となりぬれば
いつはの歌ちぎりおきけん
ことの葉の思ひ残すことなかりき
君いかに雁の便も
なかりけるかな
みよしのの山のかひこそ
今更ふたのこころなりけれ
我世経んまでも教うる
後世のおやまの松のみどり

題不知

あつま路や都のうちのまひまひ更てなつむる歌あくの日
雪わけ入山のふもと松風も生とまれる日は渡うきをし
今朝のふ浪きのふれ妙へをもてまつ夕波あき浦辺おそく
松しまやふ浪の苦屋られくそ今我なもうけふ浦寒母雪もうりを
屋ひのまつこと陣よ侍ふ比蒲寒母雪もうりを
牡う里屋てひそをろ

道房

言ふれ妻よそろふ浪いつまうそ雪の多や雪ふ屋雪
う

やつ日ふ多家の恋れ妙へをもてまつ夕波あき浦辺おそく

題志ふ比

いつまそつ生乱のうちをふひ苦楽未の夢をふ夢まふほて
極楽いそうをふえまてこそひの日のうちふすむそん

祝

屋てそ日き男ふ妻ふ生ふ世よまふ人のそろふ海
新なふ世よ浦こちやそふん神とふきとものふこと妻をに

鶴契齢

あ日鶴れ生ふよれ極ふ新ふ雪ふ宿のそ屋をに雪

苔しろうちぬ名をしることを我りまち未ちさて富の名れ
心のをセのろ八百万ほまをまてるる
神祇
神をさてるまての世代ますもうむこと
妙よ見神をうてる小世くうりて垂きこと
山田辰栗橋の社の事
花さうろ神のをみやまう郎
宗祇法師
ひろうう自ふこと栃栗
那よ那れの影高とい社よる

神ひこうの事世う妻を枝の社
宗祇法師
みやるてなまぬ心かせてきます

源持資

立春

ふるさとの乃梁れまでも霞むこそうき春の
庭鶯

呉竹のよゝの節ごと鶯の
梅

薫るかとみるまもなきの迄すき香
正月廿日あまり上杉常都入道のもとにて消息絶
更みとのゝ物ともなく更ふけて
ゐてことをきくこそ

ふこゐまさとうちもく武士の住ける道をうちそゝ

氷川社奉納の和歌すゝめらき侍りて残雪といふ

こゝろを

おいらくの身をつゝしみて社頭祈祷

氷始解

今ゝとそも及つめ事ハ慶ひとしけきすゑの海と氷れる

谷鶯

君もきゝ人をも告てふ世ふりぬいつまて聴ん白雪

二月乃歌業会次第にて行ふ三好日向守

勝元の許よりのしこされまゝ隣家梅花といふ

題を置供よみてつかはすとて侍るとそ

それやうの友垣の近きよはとをきもうるゝ梅のかを

深夜帰雁

いさとても枕のそよりもろくにいくかやきてか天津雁

待花

待あかぬのちよ花をみよし野やうつせる春のたゝ

朝花

貴うくる程を雲のそこうすき朝霞の

小田原乃攻をつゝしめてこもりゐ侍りて

箱根の別当長巽法師酒をめくみあたまう

[illegible]けれども強乃[illegible]
みく法乗酒[illegible]
石[illegible]
[illegible]

[illegible]
ち[illegible]
横[illegible]
[illegible]
あ[illegible]
[illegible]
[illegible]

長[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

嘉吉元年五月廿六日辰刻ばかりの
ことにて室のうちとの見いるやうなつかへらむやうに
島山持國君ひとりうちふしまろびて
よべて腸をのしぼりてふしまろびて
のたうちへるやうにて俗称とかやんはしかの
寺にて後日の葬礼ありて
國分尼寺菩提樹院よりおくりて
けうつる遠山尼淸門府宗植一条勘解由
負俊などいふ人ども
ふまりて侍りぬ熱社參
ろのことなどすべて
祇きこや志津技山の鄙ぶ旅
梓弓うつ枝よりも楽まよ
飛鳥井中納言雅世ひ
誦ぜうらき
一筋の愛をもも世東路の関のあるの乃山かうまじ
秋ふの日上秩幸九ん
やうとて
うとといへる初のとのひ小若代乃秋のちまりを

月前往事

梓弓なひきもくらも年こえて我のみ月をうち仰
ぎつつ

月前述懐

なげくらむこころをかくて我ゆゑにいたくも月
の照りまさるらむ

権中納言為尹卿の許より三井寺の僧来覚僧都
のもとへつかはしける

おもてふせの文月をうく思ふ人もこそ

細川勝元朝臣武備の雲をのぞみ詠めくらすふ
ほどをとひつかはしける返事に

[illegible]

更ふ益ゐ[illegible]送り侍りしとよみてをくる

武士のうちこそもんどうもせんどう

勝元朝臣能登の成功とゐ[illegible]

のどか小書付てこころ[illegible]

いそしめかしこ

人もまねんのあるにいそきおてはて

小栗和賀守道元の許より書札をあらそふ

あるに酒肴をおくるとて

とうまをせう勢よ同むいやをれをうをうを

むもをのうしれそ

五十七

五十八

五十九

六十

六十一

六十二

六十三

六十四

六十五

六十六

六十七

六十八

六十九

七十

七十一

七十二

七十三

七十四

七十五

七十六

七十七

七十八

七十九

八十

八十一

八十二

八十三

八十四

八十五

八十六

八十七

八十八

八十九

九十

九十一

九十二

九十三

九十四

九十五

九十六

九十七

九十八

九十九

百

百一

百二

百三

百四

百五

百六

百七

百八

百九

百十

百十一

百十二

百十三

百十四

百十五

百十六

百十七

百十八

百十九

百二十

百二十一

百二十二

百二十三

百二十四

百二十五

百二十六

百二十七

百二十八

百二十九

百三十

百三十一

百三十二

百三十三

百三十四

百三十五

百三十六

百三十七

百三十八

百三十九

百四十

百四十一

百四十二

百四十三

百四十四

百四十五

百四十六

百四十七

百四十八

百四十九

百五十

百五十一

百五十二

百五十三

百五十四

百五十五

百五十六

百五十七

百五十八

百五十九

百六十

百六十一

百六十二

百六十三

百六十四

百六十五

百六十六

百六十七

百六十八

百六十九

百七十

百七十一

百七十二

百七十三

百七十四

百七十五

百七十六

百七十七

百七十八

百七十九

百八十

百八十一

百八十二

百八十三

百八十四

百八十五

百八十六

百八十七

百八十八

百八十九

百九十

百九十一

百九十二

百九十三

百九十四

百九十五

百九十六

百九十七

百九十八

百九十九

二百

二百一

二百二

二百三

二百四

二百五

二百六

二百七

二百八

二百九

二百十

二百十一

二百十二

二百十三

二百十四

二百十五

二百十六

二百十七

二百十八

二百十九

二百二十

二百二十一

二百二十二

二百二十三

二百二十四

二百二十五

二百二十六

二百二十七

二百二十八

二百二十九

二百三十

二百三十一

二百三十二

二百三十三

二百三十四

二百三十五

二百三十六

二百三十七

二百三十八

二百三十九

二百四十

二百四十一

二百四十二

二百四十三

二百四十四

二百四十五

二百四十六

二百四十七

二百四十八

二百四十九

二百五十

二百五十一

二百五十二

二百五十三

二百五十四

二百五十五

二百五十六

二百五十七

二百五十八

二百五十九

二百六十

二百六十一

二百六十二

二百六十三

二百六十四

二百六十五

二百六十六

二百六十七

二百六十八

二百六十九

二百七十

二百七十一

二百七十二

二百七十三

二百七十四

二百七十五

二百七十六

二百七十七

二百七十八

二百七十九

二百八十

二百八十一

二百八十二

二百八十三

二百八十四

二百八十五

二百八十六

二百八十七

二百八十八

二百八十九

二百九十

二百九十一

二百九十二

二百九十三

二百九十四

二百九十五

二百九十六

二百九十七

二百九十八

二百九十九

三百

三百一

三百二

三百三

三百四

三百五

三百六

三百七

三百八

三百九

三百十

三百十一

三百十二

三百十三

三百十四

三百十五

三百十六

三百十七

三百十八

三百十九

三百二十

三百二十一

三百二十二

三百二十三

三百二十四

三百二十五

三百二十六

三百二十七

三百二十八

三百二十九

三百三十

三百三十一

三百三十二

三百三十三

三百三十四

三百三十五

三百三十六

三百三十七

三百三十八

三百三十九

三百四十

三百四十一

三百四十二

三百四十三

三百四十四

三百四十五

三百四十六

三百四十七

三百四十八

三百四十九

三百五十

三百五十一

三百五十二

三百五十三

三百五十四

三百五十五

三百五十六

三百五十七

三百五十八

三百五十九

三百六十

三百六十一

三百六十二

三百六十三

三百六十四

三百六十五

三百六十六

三百六十七

三百六十八

三百六十九

三百七十

三百七十一

三百七十二

三百七十三

三百七十四

三百七十五

三百七十六

三百七十七

三百七十八

三百七十九

三百八十

三百八十一

三百八十二

三百八十三

三百八十四

三百八十五

三百八十六

三百八十七

三百八十八

三百八十九

三百九十

三百九十一

三百九十二

三百九十三

三百九十四

三百九十五

三百九十六

三百九十七

三百九十八

三百九十九

四百

四百一

四百二

四百三

四百四

四百五

四百六

四百七

四百八

四百九

四百十

四百十一

四百十二

四百十三

四百十四

四百十五

四百十六

四百十七

四百十八

四百十九

四百二十

四百二十一

四百二十二

四百二十三

四百二十四

四百二十五

四百二十六

四百二十七

四百二十八

四百二十九

四百三十

四百三十一

四百三十二

四百三十三

四百三十四

四百三十五

四百三十六

四百三十七

四百三十八

四百三十九

四百四十

四百四十一

四百四十二

四百四十三

四百四十四

四百四十五

四百四十六

四百四十七

四百四十八

四百四十九

四百五十

四百五十一

四百五十二

四百五十三

四百五十四

四百五十五

四百五十六

四百五十七

四百五十八

四百五十九

四百六十

四百六十一

四百六十二

四百六十三

四百六十四

四百六十五

四百六十六

四百六十七

四百六十八

四百六十九

四百七十

四百七十一

四百七十二

四百七十三

四百七十四

四百七十五

四百七十六

四百七十七

四百七十八

四百七十九

四百八十

四百八十一

四百八十二

四百八十三

四百八十四

四百八十五

四百八十六

四百八十七

四百八十八

四百八十九

四百九十

四百九十一

四百九十二

四百九十三

四百九十四

四百九十五

四百九十六

四百九十七

四百九十八

四百九十九

五百

五百一

五百二

五百三

五百四

五百五

五百六

五百七

五百八

五百九

五百十

五百十一

五百十二

五百十三

五百十四

五百十五

五百十六

五百十七

五百十八

五百十九

五百二十

五百二十一

五百二十二

五百二十三

五百二十四

五百二十五

五百二十六

五百二十七

五百二十八

五百二十九

五百三十

五百三十一

五百三十二

五百三十三

五百三十四

五百三十五

五百三十六

五百三十七

五百三十八

五百三十九

五百四十

五百四十一

五百四十二

五百四十三

五百四十四

五百四十五

五百四十六

五百四十七

五百四十八

五百四十九

五百五十

五百五十一

五百五十二

五百五十三

五百五十四

五百五十五

五百五十六

五百五十七

五百五十八

五百五十九

五百六十

五百六十一

五百六十二

五百六十三

五百六十四

五百六十五

五百六十六

五百六十七

五百六十八

五百六十九

五百七十

五百七十一

五百七十二

五百七十三

五百七十四

五百七十五

五百七十六

五百七十七

五百七十八

五百七十九

五百八十

五百八十一

五百八十二

五百八十三

五百八十四

五百八十五

五百八十六

五百八十七

五百八十八

五百八十九

五百九十

五百九十一

五百九十二

五百九十三

五百九十四

五百九十五

五百九十六

五百九十七

五百九十八

五百九十九

六百

六百一

六百二

六百三

六百四

六百五

六百六

六百七

六百八

六百九

六百十

六百十一

六百十二

六百十三

六百十四

六百十五

六百十六

六百十七

六百十八

六百十九

六百二十

六百二十一

六百二十二

六百二十三

六百二十四

六百二十五

六百二十六

六百二十七

六百二十八

六百二十九

六百三十

六百三十一

六百三十二

六百三十三

六百三十四

六百三十五

六百三十六

六百三十七

六百三十八

六百三十九

六百四十

六百四十一

六百四十二

六百四十三

六百四十四

六百四十五

六百四十六

六百四十七

六百四十八

六百四十九

六百五十

六百五十一

六百五十二

六百五十三

六百五十四

六百五十五

六百五十六

六百五十七

六百五十八

六百五十九

六百六十

六百六十一

六百六十二

六百六十三

六百六十四

六百六十五

六百六十六

六百六十七

六百六十八

六百六十九

六百七十

六百七十一

六百七十二

六百七十三

六百七十四

六百七十五

六百七十六

六百七十七

六百七十八

六百七十九

六百八十

六百八十一

六百八十二

六百八十三

六百八十四

六百八十五

六百八十六

六百八十七

六百八十八

六百八十九

六百九十

六百九十一

六百九十二

六百九十三

六百九十四

六百九十五

六百九十六

六百九十七

六百九十八

六百九十九

七百

七百一

七百二

七百三

七百四

七百五

七百六

七百七

七百八

七百九

七百十

七百十一

七百十二

七百十三

七百十四

七百十五

七百十六

七百十七

七百十八

七百十九

七百二十

七百二十一

七百二十二

七百二十三

七百二十四

七百二十五

七百二十六

七百二十七

七百二十八

七百二十九

七百三十

七百三十一

七百三十二

七百三十三

七百三十四

七百三十五

七百三十六

七百三十七

七百三十八

七百三十九

七百四十

七百四十一

七百四十二

七百四十三

七百四十四

七百四十五

七百四十六

七百四十七

七百四十八

七百四十九

七百五十

七百五十一

七百五十二

七百五十三

七百五十四

七百五十五

七百五十六

七百五十七

七百五十八

七百五十九

七百六十

七百六十一

七百六十二

七百六十三

七百六十四

七百六十五

七百六十六

七百六十七

七百六十八

七百六十九

七百七十

七百七十一

七百七十二

七百七十三

七百七十四

七百七十五

七百七十六

七百七十七

七百七十八

七百七十九

七百八十

七百八十一

七百八十二

七百八十三

七百八十四

七百八十五

七百八十六

七百八十七

七百八十八

七百八十九

七百九十

七百九十一

七百九十二

七百九十三

七百九十四

七百九十五

七百九十六

七百九十七

七百九十八

七百九十九

八百

八百一

八百二

八百三

八百四

八百五

八百六

八百七

八百八

八百九

八百十

八百十一

八百十二

八百十三

八百十四

八百十五

八百十六

八百十七

八百十八

八百十九

八百二十

八百二十一

八百二十二

八百二十三

八百二十四

八百二十五

八百二十六

八百二十七

八百二十八

八百二十九

八百三十

八百三十一

八百三十二

八百三十三

八百三十四

八百三十五

八百三十六

八百三十七

八百三十八

八百三十九

八百四十

八百四十一

八百四十二

八百四十三

八百四十四

八百四十五

八百四十六

八百四十七

八百四十八

八百四十九

八百五十

八百五十一

八百五十二

八百五十三

八百五十四

八百五十五

八百五十六

八百五十七

八百五十八

八百五十九

八百六十

八百六十一

八百六十二

八百六十三

八百六十四

八百六十五

八百六十六

八百六十七

八百六十八

八百六十九

八百七十

八百七十一

八百七十二

八百七十三

八百七十四

八百七十五

八百七十六

八百七十七

八百七十八

八百七十九

八百八十

八百八十一

八百八十二

八百八十三

八百八十四

八百八十五

八百八十六

八百八十七

八百八十八

八百八十九

八百九十

八百九十一

八百九十二

八百九十三

八百九十四

八百九十五

八百九十六

八百九十七

八百九十八

八百九十九

九百

九百一

九百二

九百三

九百四

九百五

九百六

九百七

九百八

九百九

九百十

九百十一

九百十二

九百十三

九百十四

九百十五

九百十六

九百十七

九百十八

九百十九

九百二十

九百二十一

九百二十二

九百二十三

九百二十四

九百二十五

九百二十六

九百二十七

九百二十八

九百二十九

九百三十

九百三十一

九百三十二

九百三十三

九百三十四

九百三十五

九百三十六

九百三十七

九百三十八

九百三十九

九百四十

九百四十一

九百四十二

九百四十三

九百四十四

九百四十五

九百四十六

九百四十七

九百四十八

九百四十九

九百五十

九百五十一

九百五十二

九百五十三

九百五十四

九百五十五

九百五十六

九百五十七

九百五十八

九百五十九

九百六十

九百六十一

九百六十二

九百六十三

九百六十四

九百六十五

九百六十六

九百六十七

九百六十八

九百六十九

九百七十

九百七十一

九百七十二

九百七十三

九百七十四

九百七十五

九百七十六

九百七十七

九百七十八

九百七十九

九百八十

九百八十一

九百八十二

九百八十三

九百八十四

九百八十五

九百八十六

九百八十七

九百八十八

九百八十九

九百九十

九百九十一

九百九十二

九百九十三

九百九十四

九百九十五

九百九十六

九百九十七

九百九十八

九百九十九

千

千一

千二

千三

千四

千五

千六

千七

千八

千九

千十

千十一

千十二

千十三

千十四

千十五

千十六

千十七

千十八

千十九

千二十

千二十一

千二十二

千二十三

千二十四

千二十五

千二十六

千二十七

千二十八

千二十九

千三十

千三十一

千三十二

千三十三

千三十四

千三十五

千三十六

千三十七

千三十八

千三十九

千四十

千四十一

千四十二

千四十三

千四十四

千四十五

千四十六

千四十七

千四十八

千四十九

千五十

千五十一

千五十二

千五十三

千五十四

千五十五

千五十六

千五十七

千五十八

千五十九

千六十

千六十一

千六十二

千六十三

千六十四

千六十五

千六十六

千六十七

千六十八

千六十九

千七十

千七十一

千七十二

千七十三

千七十四

千七十五

千七十六

千七十七

千七十八

千七十九

千八十

千八十一

千八十二

千八十三

千八十四

千八十五

千八十六

千八十七

千八十八

千八十九

千九十

千九十一

千九十二

千九十三

千九十四

千九十五

千九十六

千九十七

千九十八

千九十九

二千

二千一

二千二

二千三

二千四

二千五

二千六

二千七

二千八

二千九

二千十

二千十一

二千十二

二千十三

二千十四

二千十五

二千十六

二千十七

二千十八

二千十九

二千二十

二千二十一

二千二十二

二千二十三

二千二十四

二千二十五

二千二十六

二千二十七

二千二十八

二千二十九

二千三十

二千三十一

二千三十二

二千三十三

二千三十四

二千三十五

二千三十六

二千三十七

二千三十八

二千三十九

二千四十

二千四十一

二千四十二

二千四十三

二千四十四

二千四十五

二千四十六

二千四十七

二千四十八

二千四十九

二千五十

二千五十一

二千五十二

二千五十三

二千五十四

二千五十五

二千五十六

二千五十七

二千五十八

二千五十九

二千六十

二千六十一

二千六十二

二千六十三

二千六十四

二千六十五

二千六十六

二千六十七

二千六十八

二千六十九

二千七十

二千七十一

二千七十二

二千七十三

二千七十四

二千七十五

二千七十六

二千七十七

二千七十八

二千七十九

二千八十

二千八十一

二千八十二

二千八十三

二千八十四

二千八十五

二千八十六

二千八十七

二千八十八

二千八十九

二千九十

二千九十一

二千九十二

二千九十三

二千九十四

二千九十五

二千九十六

二千九十七

二千九十八

二千九十九

三千

三千一

三千二

三千三

三千四

三千五

三千六

三千七

三千八

三千九

三千十

三千十一

三千十二

三千十三

三千十四

三千十五

三千十六

三千十七

三千十八

三千十九

三千二十

三千二十一

三千二十二

三千二十三

三千二十四

三千二十五

三千二十六

三千二十七

三千二十八

三千二十九

三千三十

三千三十一

三千三十二

三千三十三

三千三十四

三千三十五

三千三十六

三千三十七

三千三十八

三千三十九

三千四十

三千四十一

三千四十二

三千四十三

三千四十四

三千四十五

三千四十六

三千四十七

三千四十八

三千四十九

三千五十

三千五十一

三千五十二

三千五十三

三千五十四

三千五十五

三千五十六

三千五十七

三千五十八

三千五十九

三千六十

三千六十一

三千六十二

三千六十三

三千六十四

三千六十五

三千六十六

三千六十七

三千六十八

三千六十九

三千七十

三千七十一

三千七十二

三千七十三

三千七十四

三千七十五

三千七十六

三千七十七

三千七十八

三千七十九

三千八十

三千八十一

三千八十二

三千八十三

三千八十四

三千八十五

三千八十六

三千八十七

三千八十八

三千八十九

三千九十

三千九十一

三千九十二

三千九十三

三千九十四

三千九十五

三千九十六

三千九十七

三千九十八

三千九十九

四千

四千一

四千二

四千三

四千四

四千五

四千六

四千七

四千八

四千九

四千十

四千十一

四千十二

四千十三

四千十四

四千十五

四千十六

四千十七

四千十八

四千十九

四千二十

四千二十一

四千二十二

四千二十三

四千二十四

四千二十五

四千二十六

四千二十七

四千二十八

四千二十九

四千三十

四千三十一

四千三十二

四千三十三

四千三十四

四千三十五

四千三十六

四千三十七

四千三十八

四千三十九

四千四十

四千四十一

四千四十二

四千四十三

四千四十四

四千四十五

四千四十六

四千四十七

四千四十八

四千四十九

四千五十

四千五十一

四千五十二

四千五十三

四千五十四

四千五十五

四千五十六

四千五十七

四千五十八

四千五十九

四千六十

四千六十一

四千六十二

四千六十三

四千六十四

四千六十五

四千六十六

四千六十七

四千六十八

四千六十九

四千七十

四千七十一

四千七十二

四千七十三

四千七十四

四千七十五

四千七十六

四千七十七

四千七十八

四千七十九

四千八十

四千八十一

四千八十二

四千八十三

四千八十四

四千八十五

四千八十六

四千八十七

四千八十八

四千八十九

四千九十

四千九十一

四千九十二

四千九十三

四千九十四

四千九十五

四千九十六

四千九十七

四千九十八

四千九十九

五千

五千一

五千二

五千三

五千四

五千五

五千六

五千七

五千八

五千九

五千十

五千十一

五千十二

五千十三

五千十四

五千十五

五千十六

五千十七

五千十八

五千十九

五千二十

五千二十一

五千二十二

五千二十三

五千二十四

五千二十五

五千二十六

五千二十七

五千二十八

五千二十九

五千三十

五千三十一

五千三十二

五千三十三

五千三十四

五千三十五

五千三十六

五千三十七

五千三十八

五千三十九

五千四十

五千四十一

五千四十二

五千四十三

五千四十四

五千四十五

五千四十六

五千四十七

五千四十八

五千四十九

五千五十

五千五十一

五千五十二

五千五十三

五千五十四

五千五十五

五千五十六

五千五十七

五千五十八

五千五十九

五千六十

五千六十一

五千六十二

五千六十三

五千六十四

五千六十五

五千六十六

五千六十七

五千六十八

五千六十九

五千七十

五千七十一

五千七十二

五千七十三

五千七十四

五千七十五

五千七十六

五千七十七

五千七十八

五千七十九

五千八十

五千八十一

五千八十二

五千八十三

五千八十四

五千八十五

五千八十六

五千八十七

五千八十八

五千八十九

五千九十

五千九十一

五千九十二

五千九十三

五千九十四

五千九十五

五千九十六

五千九十七

五千九十八

五千九十九

六千

六千一

六千二

六千三

六千四

六千五

六千六

六千七

六千八

六千九

六千十

六千十一

六千十二

六千十三

六千十四

六千十五

六千十六

六千十七

六千十八

六千十九

六千二十

六千二十一

六千二十二

六千二十三

六千二十四

六千二十五

六千二十六

六千二十七

六千二十八

六千二十九

六千三十

六千三十一

六千三十二

六千三十三

六千三十四

六千三十五

六千三十六

六千三十七

六千三十八

六千三十九

六千四十

六千四十一

六千四十二

六千四十三

六千四十四

六千四十五

六千四十六

六千四十七

六千四十八

六千四十九

六千五十

六千五十一

六千五十二

六千五十三

六千五十四

六千五十五

六千五十六

六千五十七

六千五十八

六千五十九

六千六十

六千六十一

六千六十二

六千六十三

六千六十四

六千六十五

六千六十六

六千六十七

六千六十八

六千六十九

六千七十

六千七十一

六千七十二

六千七十三

六千七十四

六千七十五

六千七十六

六千七十七

六千七十八

六千七十九

六千八十

六千八十一

六千八十二

六千八十三

六千八十四

六千八十五

六千八十六

六千八十七

六千八十八

六千八十九

六千九十

六千九十一

六千九十二

六千九十三

六千九十四

六千九十五

六千九十六

六千九十七

六千九十八

六千九十九

七千

七千一

七千二

七千三

七千四

七千五

七千六

七千七

七千八

七千九

七千十

七千十一

七千十二

七千十三

七千十四

七千十五

七千十六

七千十七

七千十八

七千十九

七千二十

七千二十一

七千二十二

七千二十三

七千二十四

七千二十五

七千二十六

七千二十七

七千二十八

七千二十九

七千三十

七千三十一

七千三十二

七千三十三

七千三十四

七千三十五

七千三十六

七千三十七

七千三十八

七千三十九

七千四十

七千四十一

七千四十二

七千四十三

七千四十四

七千四十五

七千四十六

七千四十七

七千四十八

七千四十九

七千五十

七千五十一

七千五十二

七千五十三

七千五十四

七千五十五

七千五十六

七千五十七

七千五十八

七千五十九

七千六十

七千六十一

七千六十二

七千六十三

七千六十四

七千六十五

七千六十六

七千六十七

七千六十八

七千六十九

七千七十

七千七十一

七千七十二

七千七十三

七千七十四

七千七十五

七千七十六

七千七十七

七千七十八

七千七十九

七千八十

七千八十一

七千八十二

七千八十三

七千八十四

七千八十五

七千八十六

七千八十七

七千八十八

七千八十九

七千九十

七千九十一

七千九十二

七千九十三

七千九十四

七千九十五

七千九十六

七千九十七

七千九十八

七千九十九

八千

八千一

八千二

八千三

八千四

八千五

八千六

八千七

八千八

八千九

八千十

八千十一

八千十二

八千十三

八千十四

八千十五

八千十六

八千十七

八千十八

八千十九

八千二十

八千二十一

八千二十二

八千二十三

八千二十四

八千二十五

八千二十六

八千二十七

八千二十八

八千二十九

八千三十

八千三十一

八千三十二

八千三十三

八千三十四

八千三十五

八千三十六

八千三十七

八千三十八

八千三十九

八千四十

八千四十一

八千四十二

八千四十三

八千四十四

八千四十五

八千四十六

八千四十七

八千四十八

八千四十九

八千五十

八千五十一

八千五十二

八千五十三

八千五十四

八千五十五

八千五十六

八千五十七

八千五十八

八千五十九

八千六十

八千六十一

八千六十二

八千六十三

八千六十四

八千六十五

八千六十六

八千六十七

八千六十八

八千六十九

八千七十

八千七十一

八千七十二

八千七十三

八千七十四

八千七十五

八千七十六

八千七十七

八千七十八

八千七十九

八千八十

八千八十一

八千八十二

八千八十三

八千八十四

八千八十五

八千八十六

八千八十七

八千八十八

八千八十九

八千九十

八千九十一

八千九十二

八千九十三

八千九十四

八千九十五

八千九十六

八千九十七

八千九十八

八千九十九

九千

九千一

九千二

九千三

九千四

九千五

九千六

九千七

九千八

九千九

九千十

九千十一

九千十二

九千十三

九千十四

九千十五

九千十六

九千十七

九千十八

九千十九

九千二十

九千二十一

九千二十二

九千二十三

九千二十四

九千二十五

九千二十六

九千二十七

九千二十八

九千二十九

九千三十

九千三十一

九千三十二

九千三十三

九千三十四

九千三十五

九千三十六

九千三十七

九千三十八

九千三十九

九千四十

九千四十一

九千四十二

九千四十三

九千四十四

九千四十五

九千四十六

九千四十七

九千四十八

九千四十九

九千五十

九千五十一

九千五十二

九千五十三

九千五十四

九千五十五

九千五十六

九千五十七

九千五十八

九千五十九

九千六十

九千六十一

九千六十二

九千六十三

九千六十四

九千六十五

九千六十六

九千六十七

九千六十八

九千六十九

九千七十

九千七十一

九千七十二

九千七十三

九千七十四

九千七十五

九千七十六

九千七十七

九千七十八

九千七十九

九千八十

九千八十一

九千八十二

九千八十三

九千八十四

九千八十五

九千八十六

九千八十七

九千八十八

九千八十九

九千九十

九千九十一

九千九十二

九千九十三

九千九十四

九千九十五

九千九十六

九千九十七

九千九十八

九千九十九

一万

一万一

一万二

一万三

一万四

一万五

一万六

一万七

一万八

一万九

一万十

一万十一

一万十二

一万十三

一万十四

一万十五

一万十六

一万十七

一万十八

一万十九

一万二十

一万二十一

一万二十二

一万二十三

一万二十四

一万二十五

一万二十六

一万二十七

一万二十八

一万二十九

一万三十

一万三十一

一万三十二

一万三十三

一万三十四

一万三十五

一万三十六

一万三十七

一万三十八

一万三十九

一万四十

一万四十一

一万四十二

一万四十三

一万四十四

一万四十五

一万四十六

一万四十七

一万四十八

一万四十九

一万五十

一万五十一

一万五十二

一万五十三

一万五十四

一万五十五

一万五十六

一万五十七

一万五十八

一万五十九

一万六十

一万六十一

一万六十二

一万六十三

一万六十四

一万六十五

一万六十六

一万六十七

一万六十八

一万六十九

一万七十

一万七十一

一万七十二

一万七十三

一万七十四

一万七十五

一万七十六

一万七十七

一万七十八

一万七十九

一万八十

一万八十一

一万八十二

一万八十三

一万八十四

一万八十五

一万八十六

一万八十七

一万八十八

一万八十九

一万九十

一万九十一

一万九十二

一万九十三

一万九十四

一万九十五

一万九十六

一万九十七

一万九十八

一万九十九

二万

二万一

二万二

二万三

二万四

二万五

二万六

二万七

二万八

二万九

二万十

二万十一

二万十二

二万十三

二万十四

二万十五

二万十六

二万十七

二万十八

二万十九

二万二十

二万二十一

二万二十二

二万二十三

二万二十四

二万二十五

二万二十六

二万二十七

二万二十八

二万二十九

二万三十

二万三十一

二万三十二

二万三十三

二万三十四

二万三十五

二万三十六

二万三十七

二万三十八

二万三十九

二万四十

二万四十一

二万四十二

二万四十三

二万四十四

二万四十五

二万四十六

二万四十七

二万四十八

二万四十九

二万五十

二万五十一

二万五十二

二万五十三

二万五十四

二万五十五

二万五十六

二万五十七

二万五十八

二万五十九

二万六十

二万六十一

二万六十二

二万六十三

二万六十四

二万六十五

二万六十六

二万六十七

二万六十八

二万六十九

二万七十

二万七十一

二万七十二

二万七十三

二万七十四

二万七十五

二万七十六

二万七十七

二万七十八

二万七十九

二万八十

二万八十一

二万八十二

二万八十三

二万八十四

二万八十五

二万八十六

二万八十七

二万八十八

二万八十九

二万九十

二万九十一

二万九十二

二万九十三

二万九十四

二万九十五

二万九十六

二万九十七

二万九十八

二万九十九

三万

三万一

三万二

三万三

三万四

三万五

三万六

三万七

三万八

三万九

三万十

三万十一

三万十二

三万十三

三万十四

三万十五

三万十六

三万十七

三万十八

三万十九

三万二十

三万二十一

三万二十二

三万二十三

三万二十四

三万二十五

三万二十六

三万二十七

三万二十八

三万二十九

三万三十

三万三十一

三万三十二

三万三十三

三万三十四

三万三十五

三万三十六

三万三十七

三万三十八

三万三十九

三万四十

三万四十一

三万四十二

三万四十三

三万四十四

三万四十五

三万四十六

三万四十七

三万四十八

三万四十九

三万五十

三万五十一

三万五十二

三万五十三

三万五十四

三万五十五

三万五十六

三万五十七

三万五十八

三万五十九

三万六十

三万六十一

三万六十二

三万六十三

三万六十四

三万六十五

三万六十六

三万六十七

三万六十八

三万六十九

三万七十

三万七十一

三万七十二

三万七十三

三万七十四

三万七十五

三万七十六

三万七十七

三万七十八

三万七十九

三万八十

三万八十一

三万八十二

三万八十三

三万八十四

三万八十五

三万八十六

三万八十七

三万八十八

三万八十九

三万九十

三万九十一

三万九十二

三万九十三

三万九十四

三万九十五

三万九十六

三万九十七

三万九十八

三万九十九

四万

四万一

四万二

四万三

四万四

四万五

四万六

四万七

四万八

四万九

四万十

四万十一

四万十二

四万十三

四万十四

四万十五

四万十六

四万十七

四万十八

四万十九

四万二十

四万二十一

四万二十二

四万二十三

四万二十四

四万二十五

四万二十六

四万二十七

四万二十八

四万二十九

四万三十

四万三十一

四万三十二

四万三十三

四万三十四

四万三十五

四万三十六

四万三十七

四万三十八

四万三十九

四万四十

四万四十一

四万四十二

四万四十三

四万四十四

四万四十五

四万四十六

四万四十七

四万四十八

四万四十九

四万五十

四万五十一

四万五十二

四万五十三

四万五十四

四万五十五

四万五十六

四万五十七

四万五十八

四万五十九

四万六十

四万六十一

四万六十二

四万六十三

四万六十四

四万六十五

四万六十六

四万六十七

四万六十八

四万六十九

四万七十

四万七十一

四万七十二

四万七十三

四万七十四

四万七十五

四万七十六

四万七十七

四万七十八

四万七十九

四万八十

四万八十一

四万八十二

四万八十三

四万八十四

四万八十五

四万八十六

四万八十七

四万八十八

四万八十九

四万九十

四万九十一

四万九十二

四万九十三

四万九十四

四万九十五

四万九十六

四万九十七

四万九十八

四万九十九

五万

五万一

五万二

五万三

五万四

五万五

五万六

五万七

五万八

五万九

五万十

五万十一

五万十二

五万十三

五万十四

五万十五

五万十六

五万十七

五万十八

五万十九

五万二十

五万二十一

五万二十二

五万二十三

五万二十四

五万二十五

五万二十六

五万二十七

五万二十八

五万二十九

五万三十

五万三十一

五万三十二

五万三十三

五万三十四

五万三十五

五万三十六

五万三十七

五万三十八

五万三十九

五万四十

五万四十一

五万四十二

五万四十三

五万四十四

五万四十五

五万四十六

五万四十七

五万四十八

五万四十九

五万五十

五万五十一

五万五十二

五万五十三

五万五十四

五万五十五

五万五十六

五万五十七

五万五十八

五万五十九

五万六十

五万六十一

五万六十二

五万六十三

五万六十四

五万六十五

五万六十六

五万六十七

五万六十八

五万六十九

五万七十

五万七十一

五万七十二

五万七十三

五万七十四

五万七十五

五万七十六

五万七十七

五万七十八

五万七十九

五万八十

五万八十一

五万八十二

五万八十三

五万八十四

五万八十五

五万八十六

五万八十七

五万八十八

五万八十九

五万九十

五万九十一

五万九十二

五万九十三

五万九十四

五万九十五

五万九十六

五万九十七

五万九十八

五万九十九

六万

六万一

六万二

六万三

六万四

六万五

六万六

六万七

六万八

六万九

六万十

六万十一

六万十二

六万十三

六万十四

六万十五

六万十六

六万十七

六万十八

六万十九

六万二十

六万二十一

六万二十二

六万二十三

六万二十四

六万二十五

六万二十六

六万二十七

六万二十八

六万二十九

六万三十

六万三十一

六万三十二

六万三十三

六万三十四

六万三十五

六万三十六

六万三十七

六万三十八

六万三十九

六万四十

六万四十一

六万四十二

六万四十三

六万四十四

六万四十五

六万四十六

六万四十七

六万四十八

六万四十九

六万五十

六万五十一

六万五十二

六万五十三

六万五十四

六万五十五

六万五十六

六万五十七

六万五十八

六万五十九

六万六十

六万六十一

六万六十二

六万六十三

六万六十四

六万六十五

六万六十六

六万六十七

六万六十八

六万六十九

六万七十

六万七十一

六万七十二

六万七十三

六万七十四

六万七十五

六万七十六

六万七十七

六万七十八

六万七十九

六万八十

六万八十一

六万八十二

六万八十三

六万八十四

六万八十五

六万八十六

六万八十七

六万八十八

六万八十九

六万九十

六万九十一

六万九十二

六万九十三

六万九十四

六万九十五

六万九十六

六万九十七

六万九十八

六万九十九

七万

七万一

七万二

七万三

七万四

七万五

七万六

七万七

七万八

七万九

七万十

七万十一

七万十二

七万十三

七万十四

七万十五

七万十六

七万十七

七万十八

七万十九

七万二十

七万二十一

七万二十二

七万二十三

七万二十四

七万二十五

七万二十六

七万二十七

七万二十八

七万二十九

七万三十

七万三十一

七万三十二

七万三十三

七万三十四

七万三十五

七万三十六

七万三十七

七万三十八

七万三十九

七万四十

七万四十一

七万四十二

七万四十三

七万四十四

七万四十五

七万四十六

七万四十七

七万四十八

七万四十九

七万五十

七万五十一

七万五十二

七万五十三

七万五十四

七万五十五

七万五十六

七万五十七

七万五十八

七万五十九

七万六十

七万六十一

七万六十二

七万六十三

七万六十四

七万六十五

七万六十六

七万六十七

七万六十八

七万六十九

七万七十

七万七十一

七万七十二

七万七十三

七万七十四

七万七十五

七万七十六

七万七十七

七万七十八

七万七十九

七万八十

七万八十一

七万八十二

七万八十三

七万八十四

七万八十五

七万八十六

七万八十七

七万八十八

七万八十九

七万九十

七万九十一

七万九十二

七万九十三

七万九十四

七万九十五

七万九十六

七万九十七

七万九十八

七万九十九

八万

八万一

八万二

八万三

八万四

八万五

八万六

八万七

八万八

八万九

八万十

八万十一

八万十二

八万十三

八万十四

八万十五

八万十六

八万十七

八万十八

八万十九

八万二十

八万二十一

八万二十二

八万二十三

八万二十四

八万二十五

八万二十六

八万二十七

八万二十八

八万二十九

八万三十

八万三十一

八万三十二

八万三十三

八万三十四

八万三十五

八万三十六

八万三十七

八万三十八

八万三十九

八万四十

八万四十一

八万四十二

八万四十三

八万四十四

八万四十五

八万四十六

八万四十七

八万四十八

八万四十九

八万五十

八万五十一

八万五十二

八万五十三

八万五十四

八万五十五

八万五十六

八万五十七

八万五十八

八万五十九

八万六十

八万六十一

八万六十二

八万六十三

八万六十四

八万六十五

八万六十六

八万六十七

八万六十八

八万六十九

八万七十

八万七十一

八万七十二

八万七十三

八万七十四

八万七十五

八万七十六

八万七十七

八万七十八

八万七十九

八万八十

八万八十一

八万八十二

八万八十三

八万八十四

八万八十五

八万八十六

八万八十七

八万八十八

八万八十九

八万九十

八万九十一

八万九十二

八万九十三

八万九十四

八万九十五

八万九十六

八万九十七

八万九十八

八万九十九

九万

九万一

九万二

九万三

九万四

九万五

九万六

九万七

九万八

九万九

九万十

九万十一

九万十二

九万十三

九万十四

九万十五

九万十六

九万十七

九万十八

九万十九

九万二十

九万二十一

九万二十二

九万二十三

九万二十四

九万二十五

九万二十六

九万二十七

九万二十八

九万二十九

九万三十

九万三十一

九万三十二

九万三十三

九万三十四

九万三十五

九万三十六

九万三十七

九万三十八

九万三十九

九万四十

九万四十一

九万四十二

九万四十三

九万四十四

九万四十五

九万四十六

九万四十七

九万四十八

九万四十九

九万五十

九万五十一

九万五十二

九万五十三

九万五十四

九万五十五

九万五十六

九万五十七

九万五十八

九万五十九

九万六十

九万六十一

九万六十二

九万六十三

九万六十四

九万六十五

九万六十六

九万六十七

九万六十八

九万六十九

九万七十

九万七十一

九万七十二

九万七十三

九万七十四

九万七十五

九万七十六

九万七十七

九万七十八

九万七十九

九万八十

九万八十一

九万八十二

九万八十三

九万八十四

九万八十五

九万八十六

九万八十七

九万八十八

九万八十九

九万九十

九万九十一

九万九十二

九万九十三

九万九十四

九万九十五

九万九十六

九万九十七

九万九十八

九万九十九

十万

十万一

十万二

十万三

十万四

十万五

十万六

十万七

十万八

十万九

十万十

十万十一

十万十二

十万十三

十万十四

十万十五

十万十六

十万十七

十万十八

十万十九

十万二十

十万二十一

十万二十二

十万二十三

十万二十四

十万二十五

十万二十六

十万二十七

十万二十八

十万二十九

十万三十

十万三十一

十万三十二

十万三十三

十万三十四

十万三十五

十万三十六

十万三十七

十万三十八

十万三十九

十万四十

十万四十一

十万四十二

十万四十三

十万四十四

十万四十五

十万四十六

十万四十七

十万四十八

十万四十九

十万五十

十万五十一

十万五十二

十万五十三

十万五十四

十万五十五

十万五十六

十万五十七

十万五十八

十万五十九

十万六十

十万六十一

十万六十二

十万六十三

十万六十四

十万六十五

十万六十六

十万六十七

十万六十八

十万六十九

十万七十

十万七十一

十万七十二

十万七十三

十万七十四

十万七十五

十万七十六

十万七十七

十万七十八

十万七十九

十万八十

十万八十一

十万八十二

十万八十三

十万八十四

十万八十五

十万八十六

十万八十七

十万八十八

十万八十九

十万九十

十万九十一

十万九十二

十万九十三

十万九十四

十万九十五

十万九十六

十万九十七

十万九十八

十万九十九

二十万

二十万一

二十万二

二十万三

二十万四

二十万五

二十万六

二十万七

二十万八

二十万九

二十万十

二十万十一

二十万十二

二十万十三

二十万十四

二十万十五

二十万十六

二十万十七

二十万十八

二十万十九

二十万二十

二十万二十一

二十万二十二

二十万二十三

二十万二十四

二十万二十五

二十万二十六

二十万二十七

二十万二十八

二十万二十九

二十万三十

二十万三十一

二十万三十二

二十万三十三

二十万三十四

二十万三十五

二十万三十六

二十万三十七

二十万三十八

二十万三十九

二十万四十

二十万四十一

二十万四十二

二十万四十三

二十万四十四

二十万四十五

二十万四十六

二十万四十七

二十万四十八

二十万四十九

二十万五十

二

おろとをさまいのちれおかる

春

治部少輔宣秋

おさまるかとへ雁をまつとも落ともふかき

梅

人るるこゝろまつ名やゝんさとうめてまふくうまし梅の匂ハ

雪鳥迹

よの中にとりもきこえぬ雪をうかぬ

鏡不曇光

ふくとてやあらぬ西よ入る日のちきりは

文安四年の春、飛鳥井中納言雅永卿の許より

枝の橘とりつゝ式よむへきよし一條を侍りまゝ

返事

おもつこの卅年ふとそへ植をゝ昔ハ誰のまきのたちくる

初菓の蓑三つよりの侍るをとゝのなやみよく

うしろひめつゝめて乃年後のわきとといと

おこ侍るむまこのとさて蓑めるてゐのちかこゝを

思ひ出きまをとくこと

きさゝめの絆へひつのり

な康くゝゝめきまをのくまもむくて

初菓の蓑

去年の冬別て時を今と忘れ給はぬ社（イえ）いとあはれ知さるゝ
亜儀の字御てうとおぼしめすよしなつかしき
義よ折き民よりて朝夕なよつゝんとおもふ
あそおぼしめき

右太田伊豆守源持資入道道灌号靜勝軒
詠艸以靜勝軒昊西堂蔵本寫之

天正二年三月

侍従藤原朝臣共宗

一本云

右一巻太田伊豆守持資入道道灌叟之平素詠艸也以前
靜勝軒昊西堂之蔵本而寫之乎

天正二年三月下旬

侍従藤原朝臣共味

国立国会図書館　タイトル『群書類従』　請求記号 127-1
ガラス使用

天正二年三月下旬
書写校合之畢
右一巻太田牛一入道宗人真筆
一本也

桂林集

やまと言の葉世々さかえ国を治めて多
うの年よ白雪の年本を祝の種よりも出
になく鳥獣もいろのりをあらそふ事
今の世中時しありて昔のみてあり
ため君治の御ときおこりて剣をも
おさめ武を御代と成ぬる時は
関のひしきの道もせうにあるをよしと
をうなん従五位下源忠胤細柳営不服膝の
(揖)
(逸)
名ごきく かうべ(宅)
ふうろうして 印

よう風よし月朗なる晴よてこの月庵と称せる遠く
遍昭の跡をたつねもとめ西行の風流をしたひ今古を
兼てあはれとおもふこころをのべ一致なるまことの
ふうりうをもとめ漢の武帝乃井水枯さるを金かもて
めぐまれる玉を探りて家の一集とす侍まゐり
きよの一つそつきに侍さきのひしりの御代よりあつめ
らるゝをもしりもうすことを書もいまて貴之つらゆき
紀友則きのとものりにうて終ふ二百餘首を拾ふ今
のそうひそのさまとい是等をうる事ふ多の数
おかきあつめたるとを侍まゝ今さ集の幸ふ
そのこゝろひとうへ仍て数百之中に眞ふ
那ふき行平をみきりて数ふのうち跡をさゝめ
一巻とすること乃月のうちにうよなうへて桂林集と
ふうりうきれ二枝の外ふ彩のこゝろをもとめ
おかきうつすあうる色をみてるをかくるまの
天乃ふさこのふ社いとゝ

桂林集　源惠　明

春雨

早春

いつとなく山のあけぼの雲の濱かくとよう霧む空哉
ほのぼのと尾上の雪も消ぬ前こよ春や来めらん

霞

横雲の別るゝ峯の山桜尾かつらまでも霞なる哉

朝霧

冷敷に狩霞ぶくかれしひきの山のそことはそこまで

国立国会図書館　タイトル『群書類従』　請求記号 127-1
ガラス使用

みやぬへや未まの雪にそれなるそ雪ふ
梅
梅のそか咲ふそかに雪のふる菓をいつる神そ
故山梅
ふる里の新波ちるもの梅そふみまもむそれ墓ふ吹
柳営隔東寺の梅に残しまるそ花村岡笛と
つまそ
墓それ雪うへの春ふ吹たの流める梅のしたを
梅のふの中ふ
おの称めう袖のまそれ胡蝶そ梅そよりそすも

春のへれ花ニ本の梅るそおくの人せん袖そ見へ折
梅のそふかそせいをのつそ軸に清生女堂そみる
若葉
手もれてウふ揺る墓日吐の雪はそふ咸ふる
柳
うちそす心柳の糸や依條始れ湖東ま多のみも咸らん
田家柳
山賤の門田の柳墓へまれそのみそのみそのみまそん
春雨
大空の雲ふそれ墓面れみそえの柳そそひゆく

国立国会図書館　タイトル『群書類従』　請求記号 127-1
ガラス使用

裏面にそのことをしるしおくべし　霧外下乃霧の巻

帰雁

いつまでと越路の月をながめそめて雁の翼に秋風ぞ吹く　嘉月

嘉月

そのの秋ふかきのべのむしの音のよわりはてぬる霜の夕暮

花

春の夜の夢ばかりなる手枕に甘くかほるは何の花ぞも　霧外下乃霧の巻

むらさきと名にしおへて誰も見ん花よりほかの色はなけれど　霧外下乃霧の巻

ながめこし月も霞のそのかみの花の光ぞ今夜なりける　霧外下乃霧の巻

岸ばなのあらしにまがふ花の色をしばしとどめよ春の川水　霧外下乃霧の巻

山桜さくらかあらぬか白雲のたえまにほのめ乃友さそふまで　霧外下乃霧の巻

ちらぬまの花も社すれ

ちらぬまの花も社すれ

みよ野の吉野の河の下流をあまて君の波よ八山陰も
賀護院進呈あつまにくらをひしけ花の
下よそよそをひて折人もをほふふうみ
もれぬ今ふ嶺う世君の不絶のこまひまを
折そそふも等つ山桜君がためとや雪とあるらん

蛙

西まて山田のつら水敢て等の薬まよ蛙なくれ李

杜若

いつ重ふ淺渡ぬまれきつ
藤

白ふて波やくくんむくきの花白の松の枝もたれ
花堤松
陰なき松の精よ咲花のをふ乃春きく李のみくれ
玄人情表
玄う世のまをおもへ年くよはうそ井さ李の雪か
三月尽
山のくれをまともえとすうふの日の雪や妻のうふ
雪ふふや四方の山辺の春みすて衣てふもぬよふ
雪ふうる雪を思つき君らくれんとふ雪妻ふ

更衣

なき人の袖を残して夏衣

卯花

うのはなに咲ぬ垣ねはなかくて雲うく月を待哉

葛蒲

ふるさとの庭の蓮をそのまゝにあやめよ添てみく彩も哉

鄭玄

待ものゝ移ぬ秋乃空の一ふしを雲とおもふこゝろぬるらん

かとゝきす月のうらやとる時ぬ秋の一ふしを待ぬるかな

かとゝきす次第かしと告ぬる一ふしに秋まちぬるねたさ哉

武義雄

長陳をきゝ時かとゝきすをまつ事

むさし野は東雲もまたぬ程なくかとゝきすなく

恵橘

放ち乃巣ごもるうちともとのみや雨

むすびてもあらぬ袖をあくまてほとゝきす野の草かくれ

着ふるしの麻衣の袖のよにかとゝきすなく五月雨

五月雨

五月雨はなき影もらぬかくれ家に

ふるいくの物ぐさの郷をひきこもりて波ふる五月雨のそら

風にいの里高月をうかとそ春うさし國乃枝る花雲間のひ

早苗

田子のとろさる〳〵乃つ紅の玉こそ咲きうをてんよ妙やまろん

夏草

露をくふやそとり称する其草のなかに乃ふ

野夏草

夏のくさかやうみさうもとそふてれるろもや秋を待ん

ふとりのきて毎乃すゝ武蔵野の草ふかきふ川のあひろ

短夜月

雀ちきふ川のあひろ今すらも秋さ月の影ふ

夏うの玉江の芦わりをあうさるさよ新やみしく軟の月

夜月添

手ふなき次扇の風もうまれ川ち月よまつ咲る交乃夜のうろ

鵜川

大井のきてしてうさうを火ふみるきにかろ鵜しほるろん

沼蛍

むらくちまこそきの沼のふみえうまり乃蛍うれ

螢似露

おろる乱江の芦乃ふしてそうるあちうあのそこさ

蓮

国立国会図書館　タイトル『群書類従』　請求記号 127-1
ガラス使用

紅ふかく花もみどりも玉もゑみ蓮葉の露

池蓮

池の水あをめうさ葉のもろうまひて水も濁さぬ心をのこる

夏夕

夏ごろの空もむしあつくもいひあへぬまでもゆふすゞみ

もとすゑの今堰こえて城めぐる花の雪

水風晩涼

夕ばえも池の玉藻にあそぶ魚の光むしろうてのをも涼しき

竹風夜涼

我門の柴のそよ風ふくごとに窗の友ぶくまろ

御裳を

ふるごろもやすらん麻乃葉のもろこしかぜの秋ぞなりぬる

秋朝

初秋朝

今朝きやいかゞ人乃心もたのされぬ

松高風有一声秋と

いはもきく根の松乃琴までとはぬ

七夕

玄の糸ふるごとよ琴かてゝ申乃ちぎりもふかし

国立国会図書館　タイトル『群書類従』 請求記号 127-1
ガラス使用

七夕別

天川曉の雲乃湧くるやまと琴

萩

下葉もさそて拂ふ夕と毎もとや萩の露の玉ゝ

萩、

記ゝ連禄ゝの夜うら風れてちかへ乃萩の音

雲中鷹

尾上をとゝ小雨雲集て時つゝ

鹿

小男鹿乃妻恋そうしもそれ歟きくる山の秋風

虫

露霜も消ゝ人里てそこの里あへし衣、のちを松虫の時

放ち虫

おて行ゝ人をか宮せ恋のもきてゝ乃岩ほの元牡虫の

月

ひやうゝ月小野もくもりうらん人の秋、扎歟のうら

そまて、寺のめもそそも秋八めをのうそ屋とる月新

録ゝ衣そもまきうまきこゝ毎ゝ

相州三浦郡池子里ゝ生ゝ

雨ふて十五夜の月のそのよ
かきくもり月を詠るこひぢさへ
人の恋よ侘るとも
七夕
九月十三夜義氏朝臣家ニ月前旅宿といふことを
ふるさとの月もかはらぬ秋ながら
野月
雲乃山もとまでのぞく秋の世乃月
名所月
雄波うつ志賀の浦風吹ぬれば

遠山雪

ちる葉さへあるを春乃雪ぬうこそ侘ぬ
河霧
秋ふかき霧乃まがきにあらく山川の乃ぞ
山家秋風
山ふかみ霧しく袖もわび敷ぬ
菜花霧
ゆふさらば尾花が原もうづもれて清水
野分あらし
霧ふかきおのもろ乃も里の秋風

国立国会図書館　タイトル『群書類従』　請求記号 127-1
ガラス使用

河の霧を

落潮津河のもの乃もゝ

紅葉

時雨ゆく雲九重を染りつゝ

河紅葉

淵も瀬も雲と地にのみ

月照紅葉

夕霧れのあるあしの末くれなるをまこゝ入の心の

籬菊

たゝきくの色もそゆる夜の酉のほう紅て秋ぎり

あら雲れ夜もふきくろ乃もゝ

大樹より菊のもを

まつまろ

君代のあへきこのよを松ひ

比沙久ろとてもゝ

霧ろのまろ夜

惜秋

わすまてゝ寺ゝまろ

野菊秋

をしろさ尾花うす雪の波の

九月尽

雪ふるや苔そこなひの草の戸

冬初

初冬

山河や日数ふるうち紅葉ちる

時雨

但あるじ茅舎の小春時雨哉

落葉

栞の名にも木の葉哉山ざとの

冬ごもりこゝろ乱れも有べきを

山里は冬こそ住うかりけれ

尾上より風にちりゆく紅葉哉

夕落葉

秋の山漸〳〵時雨もてゆくや

霜

浅ち原小野の冬草すゞ霜の

寒菊

冬ごもり垣ねやそらに菊の花

冬草

雁渡りや雲をうつして冬の草

枯わたる芦の葉そよぐ秋の名り

国立国会図書館　タイトル『群書類従』　請求記号 127-1

ガラス使用

水鳥

いつの秋ハ芦のそうきを含にて
みつ秋ありき芦のもろ枝
千鳥

うきまろ寐海のとまやに宿うまてハ我女ちとうなきに鳴くる里
浦千鳥

月さえくあかつき乃友ちとうかのくうろつふん
薄氷

山ぢのはのさむく日てとう出ぬ薄ひ
湖氷

新やとく波をおてとう宮の浦や杉をゆるてとう本かけ
池氷

池の面にうろこ月のみつまてあるとう宮ハ
冬月

宿ハあまき淺茅藻の葉乃うへ人なき秋の月
雪

きてつまても絶て秋ハ我やとハ里そ人ふきのそうる
朝雪

問めとく人ふうみて秋も又初ふ雪ハ朝の初雪
雪埋竹

国立国会図書館　タイトル『群書類従』　請求記号 127-1
ガラス使用

雪、竈

夫木小野好古 炭竈煙風吹をくる峰ふもとの檜山

爐火

うたゝねに夢もむすばぬ埋火乃消てさひしき冬の夜半哉

歳暮

風雪もてなすまゝにつもりくれてゆくとしおしむ我ごゝろかな

惹郎

初言惹

むつまじくかたらひあかす元日乃まくらもかはしてうれしき

思惹

そらもうき浪とかいもて我袖のうらみもしらぬ人のあやしめ

契行未惹

ちぎりをく秋乃夜乃いのちをも城よそらぬ待惹

今までいわゝいまいのこゝろ哉山のとをさき月をまつ哉

逢惹

国立国会図書館　タイトル『群書類従』　請求記号 127-1

ガラス使用

うたて妻こそ
逢夏中恋
さ丸ぬるよ消てそね雪鳥羽玉乃
見恋
我こゝろのもて野ようきこゝろなみ
月前恋
かゝる夜とひかゝるをよりよ雪のめ如月の夕暮れ空
後朝恋
雪もやそこゝろに有明乃月の清く人のみもを
こもよこもりの井もやをいたくこけるまきの戸の月を

暁恋
もゝよいくよ秋のなをく簾自ら
夕恋
そそもきん乃空ゆきこゝろをとゞめおき
おりしもなくなく乃空ゆく雲も彩くタをうらうらさも添ん
久恋
おもまもおりしめる月日ゆく秋て成ぬる
名立恋
よもや雪うき名いとくてそ乃こをほてゝ消なん名の雪
還不逢恋

[illegible]人のいそぢもてれ秋ふくまで

寄月戀

まち侘つほまきのとそ冬山乃そに人の久方の月

寄竹戀

いるようや露もまだにふむ葛葉れつまにてまつまの秋風

贈従院渡后奉乃給を

[illegible]ふらすやたうち出ぬとも君のみを

とのまひけるとその日

うちおもんてのそこはまれかうつのまろねもひとをそん

雜歌

曉

[illegible]乃月のそもあ[illegible]山のくちくき投きうう

秋面

よ[illegible]乃花もそに[illegible]

山

我心くまの峰を訪ねんなうも山れまされのう

河

[illegible]みさのもていふとてうへわらあ浪にぬて神な

池上松風

立ねる松池乃みまそのまう陰に風と浪との音とう成う

国立国会図書館　タイトル『群書類従』　請求記号 127-1

ガラス使用

浦檜

ものやく海士の衣ほすらし夏の月

関

あふまもゆく末ながらこのれ

寄月懐

雲消のかげもる浪光ありて

籬窗風

吹ごとにこぬ篠原のうつり香を

山家

くる人乏秋ふかき柴の戸

山泉水

柴の戸よまだ宵なれや人もこず

浦ちどり侘ぬるかたよりうちとけて

胡地の海士の志ほやくけぶりこそ

寄松述懐

ひとりのみ世のうきをしる松風の

寄鳥述懐

声おもふ人ぞなほうき物なれや

寄海述懐

らやふたゝなのうき渕を起をこのわくるをまつてまめまの白波
鏡裏塵驚両鬢霜と
ほをうみうまいかりうて雲そわく年の栄みてをくる
十如是乃至人くうまを信をうまいまま本未究竟等
乃至名代
山乃楽に出入をも人をみ川月をひうよ至をるまうをを
大樹勢尊寺にて追福のみこうをうまいまま一時一
妙経卅首の中すて如是展転教とゝまことを
名ゝ事法乃くをほうへ空
一切有為法如夢幻泡影

うこかうの気こまやむそ
弥陀乃末十八願のこ
今をもを五のとうハそのほ
地獄
釈うこけうやくうんう
畜生
此世ゝ夫あをて天かを
餓鬼
いけまうをき渡ちほと
人間

国立国会図書館　タイトル『群書類従』 請求記号 127-1
ガラス使用

むまきこころ人めんの色ころもまことの中の
天上
いくそたひのねをきていくたひかうまれはてなき世を
緑覚
深山ひぬりのきぬの袖の露夕風にちる紅葉
菩薩
わうそうえそうへきこえすむ月のあこうのうら
母乃十三年にあたりてうたよめる
柏もてゐていく春かうもりそ糸志無いろはねよ残れる
うとみのまて人のとふらひの使よこせよ

きこえちうへきまりぬるよりもきえ愛のこと
ちてその塚のもとよりひ高
あり世乃中のひと皆よくしたしみ愛人
桑栽法師の墓所古河の小姓和田の系の有里
にこひ多き人の墓ふその塚もりとふくき深く薄
うちて袖多き人もみもさそしたその時乃新菊
政波集かとの名るおとまもありひ出ふ
ほくそ山ふきこ玄楽の花の露苦乃不ほ乾み白ら春
菊原の巻範胡旨緑革に
霧清ふはしめそかと物りひ出ふく梓うふ引

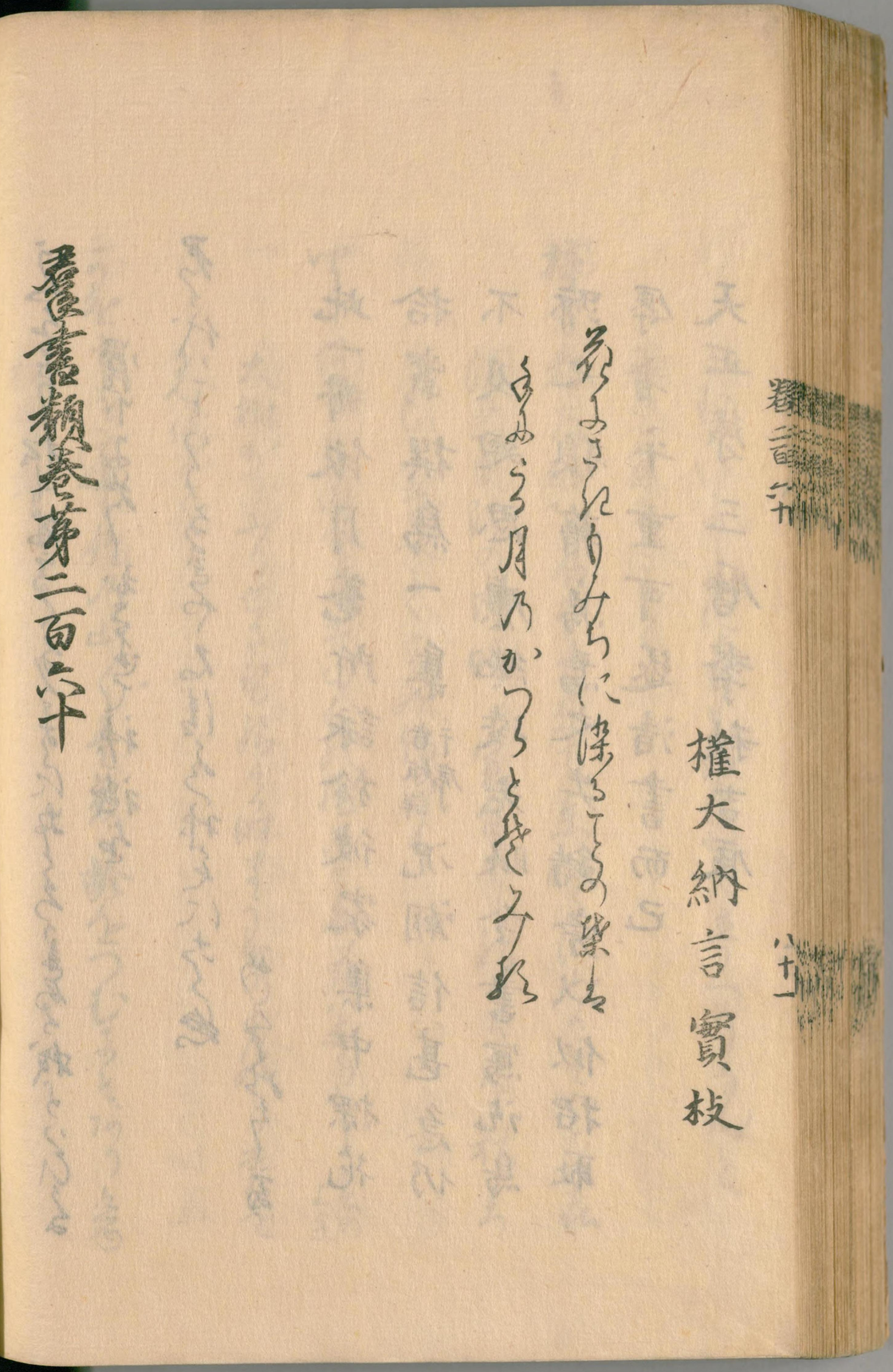
国立国会図書館　タイトル『群書類従』 請求記号 127-1
ガラス使用

梓弓春乃始と色立て来て東村
後京良院の御時　宣旨かしこ
こしより奉へくよみ侍ける
雪と降て名をも老のむれ居乃
大樹かうみせき勢給ふ時まうでゝ
見侍るに
この色ゝき蓬ゝ侍乃山くゝ色ゝ君ゝ齢をつむとてかゝる
松歴年

此一冊依月菴所詠拾寶撰爲一集（詳序）況潮信甚急仍
不及廻思慮纔凌老眼令書寫訖鳥
跡之狼藉烏焉之失錯旁以似招恥
辱者乎重可遂清書而已
天正第三暦季秋吉辰

127
666
1

権大納言實枝



群書類従巻第二百六十

国立国会図書館　タイトル『群書類従』　請求記号 127-1
ガラス使用

127
267
1

国立国会図書館　タイトル『群書類従』 請求記号 127-1

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『群書類従』 請求記号 127-1

ガラス使用